

いつか起きた時 命を守るために

読もう そばに置こう ハザードマップ

避難の目的はただ逃げるのではなく
「生き延びる」こと。

南海トラフ地震や、近年様々な場所で
頻繁に起きている豪雨など、いつ名古屋
市で大災害が起きてもおかしくありません。
そんな時、落ち着いて行動するためにも
まずは「知っておく」ことが大切。

ハザードマップは「命を守る地図」。

家族みんなでハザードマップを確認して、
自分の身を守る準備をしましょう。

ハザードマップは
2023年3月に
各ご家庭に
配布しています



名古屋市防災危機管理局
防災啓発キャラクター

クルカモ
アスカモ

HAZARD
MAP



名古屋市
防災アプリでも
ハザードマップ！

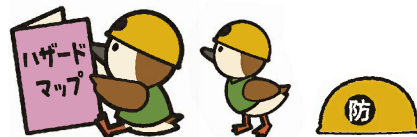


SNS(X)で
防災情報を
チェック！

名古屋市

防災危機管理局防災企画課
TEL 972-3527 FAX 962-4030

ハザードマップの使い方



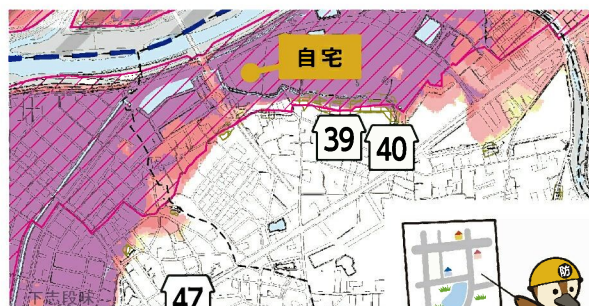
STEP 1

自分の家を見つけてみよう！

● ポイント

自分が住んでいる場所の確認

近くの学校や公共施設などを参考に、
まずは自分の家の場所を見つけてみましょう。



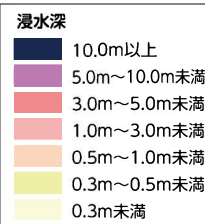
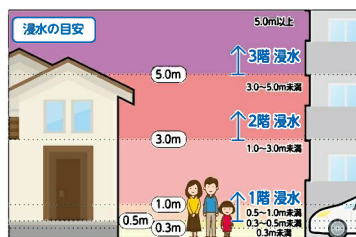
STEP 2

災害リスクを確認しよう！

● ポイント

自宅周りにおける災害リスクの確認

自分の家は、洪水が起こった時にどのくらい浸水するのか、土砂災害や家屋倒壊の危険がないかといった、災害種別ごとの災害リスクを確認できます。浸水深は色が濃いほど、浸水の危険が高くなります。家だけでなく、家の周りに潜む危険も確認してみましょう。



凡 例	
	指定緊急避難場所 命を守るため、災害の危険からまずは逃げるための場所。
	アンダーパス等 大雨が降ると道路冠水を起こし、通行止めとなる箇所。
	土砂災害(特別)警戒区域 土砂災害の発生のおそれがある区域。
	区界 ----- 学区界(学区界はおおよそです。詳しくは、各区役所へお問い合わせください。)
	区外の指定緊急避難場所

STEP 3

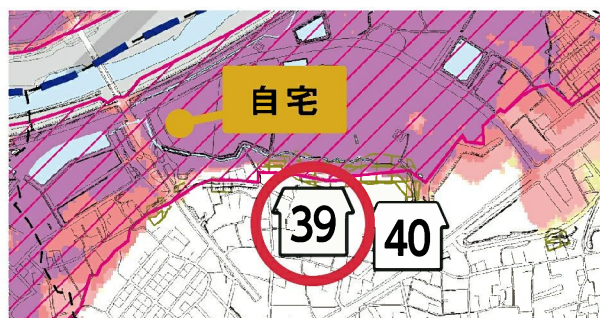
近くの避難場所を探してみよう！

● ポイント

災害時における避難場所の把握

マップ上の家のマークが、災害の危険からまず逃げる「指定緊急避難場所」になります。自分の家に近いマークを見つけ、大雨が降ると通行止めとなってしまうアンダーパスや、土砂災害警戒区域などを避けながら、どのルートで避難場所まで向かうのかを確認しておきましょう。

※災害リスクがなければ、自宅にとどまることも可能です。



ハザードマップは名古屋市
公式ウェブサイトからも
確認できます



スマホで 防災



名古屋市防災アプリでも
ハザードマップ！



名古屋市防災アプリが、より使いやすくリニューアルしました。アプリを用いてハザードマップの確認ができ、地点検索や住所検索、地図の拡大縮小も可能です。また、災害リスクや避難場所を確認しながら、自分の避難計画(マイ・タイムライン)を作成することができます。

もしもの時のために、今すぐダウンロード！

名古屋市防災アプリ



SNS(X)で防災情報を
チェック！



名古屋市防災 SNS[X(旧:Twitter)等]をフォローし、日頃から、市から発信される防災情報入手して、防災知識を身につけましょう！災害時には、避難情報や各種支援情報などが発信されます。



@nagoya_bousai

